

柏市民活動ニュースレター

2022年9月発行 第26号

柏の未来を創る若者にエールを！

- 「市民活動はシニアの社会参加の場」と、一般的に言われていますが、ここ数年、柏の市民活動を身近で見ていると、若者の進出・活躍が目立っているように感じます。
- 本号では、最近目に留まった柏の若者の活躍を、トピックスとしてとり上げてみました。⇒2ページの「若者特集」をご覧ください。

歴史文化はシニアのお宝！

- もちろん柏のシニアの皆さんも、これまで通り、いやこれまで以上にアクティブに、市民活動で活躍しています。
- 本号では、シニア団体など13の市民活動団体（シニア未満含む）が参加して、8月21日（日）にアミュゼ柏で開催された、柏市主催のシンポジウム「柏の歴史文化を活かす」の様子をお伝えします。⇒3ページをご覧ください。

そして、世代を超えて・・・

- そんな中、9月4日（日）、子どもや若者からシニアまで、世代を超えて交流するイベント「ストリートパーティ」が、UDC2の主催で柏駅東口のハウディモールで開催されました。
- コロナ禍で中止になっていたこのイベントが、市民活動団体など多くの皆さんの協力で3年振りに開催され、みんな笑顔になりました！
- また、11月23日（水/祝）には、フリーマーケット「ぽかぽか市」が、柏駅東口のハウディモールで開催されます。ご家族やお友達を誘ってお出掛けください！



<目次>

はじめに	・・・1ページ
若者特集「柏の未来を創る若者にエールを！」	・・・2ページ
柏市文化財保存活地域計画シンポジウム「柏の歴史文化を活かす」	・・・3ページ
柏市民活動講「活動PRにかしわんぽっ？を活用する」	・・・4ページ
協働まちづくりサロン「柏駅周辺のパブリックスペースを活用して活動をひろげよう」	・・・5ページ
柏市民活動講座「団体活動をICTでレベルアップ」	・・・6ページ
たまご補助金団体の活動紹介（ヨガと手作りパンサークル、Crivel）	・・・7ページ
まちmatchづくりステーション	・・・8ページ

柏の未来を創る若者にエールを！

柏の若者は市民活動で活躍しています。個人として、団体として、またグループとして、色々な形で柏を元気にする活動をしています。シニアともコラボして、柏を盛り上げて行きましょう！

若者力大賞

市民公益活動団体「柏の葉サイエンスエデュケーションラボ」の代表で、手作り科学館 Exedra 館長の羽村太雅さんが、自由な発想力とチャレンジ精神をもって様々な社会的活動に従事するユースリーダーに贈られる、第13回若者力大賞〈ユースリーダー支援賞・個人部門〉を受賞し、7月21日に授賞式が行われました。

「科学コミュニケーション活動により、大人にも子どもにも世界観の革新を促す」活動で、今後も益々ご活躍ください！



写真提供：羽村さん

麗澤花火大会

コロナ禍で花火大会が相次いで中止される中、麗澤大学の学生有志が、「家族全員が共有できる思い出の1ページに」という願いの下、地元の花火店と協同して、7月23日に麗澤大学のキャンパスにおいて花火大会を実現しました。

柏市と協働するために、事前に市民公益活動団体に登録し、また、花火大会の資金はクラウドファンディングにより集めました。

行動力ある学生の未来に“花”開け！



柏市 100人カイギ

若者が中心になって始めた、柏を愛する100人を起点に人をつなげるイベント「柏市100人カイギ」。

2019年5月に第1回カイギを始めて、2022年9月25日の第21回カイギをもって最終回となりました。

その間、柏に所縁のある100人のスピーカーが登壇し、自らの活動と柏に対する熱い思いを語り、参加者同士がお互いに知り合い、つながる「場」となりました。

このカイギが、今後の柏の活性化に繋がることを期待します！



柏未来ラボ

柏の若者に柏の未来を考えてもらおうと、「柏未来ラボ」がラコルタ柏で始まりました。対象者は、柏市内在住・在学の中学生から専門高校生・大学生まで。

8月の2回の基礎編は、「柏の歴史を学ぶ」と「まちあるき」。9月・10月の応用編では、SDGsの考えを学び、自分たちの手で「柏の未来を創る」に挑戦。

柏の未来を創る若者にエールを送ります！



活動PRに「かしわん、ぽっ？」を活用する

2022年6月11日（土）午後1時30分から3時30分に、主に柏市民公益活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」の活用方法をマスターし、市民公益活動団体の皆さんに活動PRに積極的に活用していただくための講座を開催しました。

- 【テーマ1】「かしわん、ぽっ？」とSNSを活用した活動PR
- 【テーマ2】団体ホームページと「かしわん、ぽっ？」の連携
- 【テーマ3】「かしわん、ぽっ？」の使い方

柏市民公益活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」は、4月にリニューアルし、すでに多くの団体の皆様に活用されていますが、まだまだ活用されていない団体もあり、より多くの団体に活用いただくことによって相乗的にPR効果も上がっていくことから、これまで使い方がわからず使ってこなかった団体を対象に、市民活動サポートコーナーのスタッフが講師となり、基本的な使い方を説明しました。

旧サイトは、比較的シンプルな使い勝手で直感的に使うことができましたが、システムの構築から15年が経過し、団体情報に含まれる個人情報のセキュリティ確保が課題となっていました。また、現在ではスマホやタブレットでサイトを閲覧する人も多く、そのような携帯端末への対応も課題でした。

今回のリニューアルはそのような課題を一気に解決するよう試みました。画像を中心に閲覧する側にとっては、ぱっと見で情報を得やすいサイトになっていますので、団体が魅力的な画像をアップすることで、訴求力がより高まるシステムになっています。ただ、一方では全く別物のサイトのように一新されたことにより、戸惑う声も聞かれたため、講座を開催し、理解を深めていただくための機会を設けたものです。



今回の講座では新サイトの使い方の説明にほとんどの時間を使ってしまったため、SNSと連携してより効果的なPRをするためのコツなどについては十分説明できませんでしたが、今後も随時開催して活用していただけるようにしていきたいと考えています。

コロナ禍で、ウェブサイトやSNSを活用した情報発信の重要性がますます高くなっています。市民活動においても例外ではなく、どのような活動においても必須のスキルと考えて取り組んでいくべきでしょう。

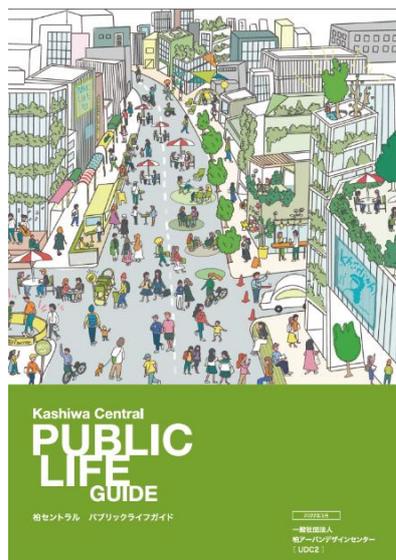
柏駅周辺のパブリックスペースを活用して 活動をひろげよう

柏アーバンデザインセンター（UDC2）が発行した「柏セントラル パブリックライフガイド」を活用して、市民活動団体が主体的に柏駅周辺のパブリックスペースを使って、多様な団体と連携したイベントを企画・開催することをテーマに意見交換する「協働まちづくりサロン」を、2022年7月13日（水）午後1時30分から4時にかけて開催しました。

まず、UDC2の副センター長である安藤哲也氏に、これまでのUDC2の取り組み紹介と「柏セントラルパブリックライフガイド」に沿って、柏駅周辺のパブリックスペース活用方法について解説していただき、それぞれの活動に合わせてイベント企画を考えてみました。

「柏セントラル パブリックライフガイド」は、パブリックスペースを活用してイベント等を実施したい市民活動団体等が、実施する際の注意点や手順を参照することを目指した冊子です。これまでUDC2が行ってきた社会実験としてのパブリックスペースの活用事例など豊富に掲載されており、パブリックスペースの活用についてわかりやすく説明されています。

今回の参加者には、「柏の街にあったらいいと思うこと」「その中で自分ができること」そして「パブリックスペースで自分だったら何をしたいか」という設問を考えてもらいました。



- ✧ 講師を呼んで学習会、実験とかスポーツ体験とか、街の中の学びの場
- ✧ 障害者が参加できる演奏会
- ✧ 老いの坂道を急がず余生を楽しむ交流の場
- ✧ なんでも相談室の開設
- ✧ 焼き芋、BBQ 大会
- ✧ 立体的な写真スポットをたくさん作って仮装グッズも用意して、多様な人が楽しめる場
- ✧ 地元の人による屋台や休憩スペースなど
- ✧ 定期的な公開講座、体験講座、作品展示など。堅苦しいギャラリーではなく青空の下がよい
- ✧ 子どもと高齢者がそれぞれ案内したいことや場所などを出し合い、それらをマッチングして子どもと高齢者がチームを組んで動画撮影して公開するイベント

などなど、さまざまな活用案が出てきました。ひとつでも実現できればと思います。

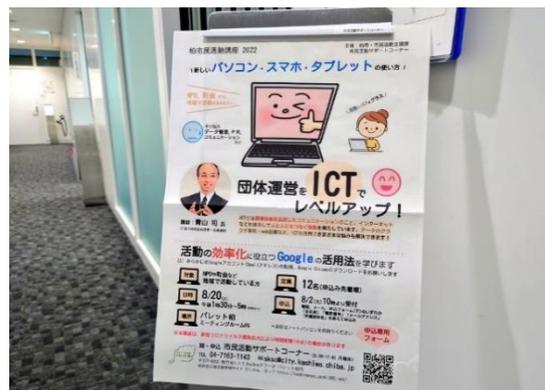
団体運営をICTでレベルアップ

市民活動サポートコーナーでは、団体の基盤強化を目的としたICT（情報通信技術）に関する講座を毎年開催しており、今年度のテーマは「団体運営をICTでレベルアップ」でした。（講師：一般社団法人ICT能力開発協会 青山 司 氏／開催日：8月20日（土）午後1時30分～5時）

Google Workspaceとは、Googleのアプリ群のことで、すべて無償で利用できます。Gmailやカレンダーの他、書類やグラフ作成などの仕事に使えるアプリが一つのパッケージにまとまっています。それらはクラウドベ
インストール不要、データも自動保存されるため、万が一端末が破損してもデータは守られます。また端末・デバイスを選ばず、どこでも作業可能であることが便利な特徴です。この日は様々なアプリの操作方法・活動への活かし方を講義と演習で学びました。

みなさんも、日頃の団体活動にICTをプラスしてみませんか？

活動にICTをプラス!



◆当講座での演習内容◆

ドキュメント	メモから本格的なレポートまで作成できる文書作成アプリ AI搭載の音声マイクを使い、文書を入力することもできる
スライド	発表を支援するプレゼンテーションアプリ テキストボックスと画像の挿入でAIがレイアウトの候補を提示
ドライブ	共有と共同編集ができるファイルを作成できるツール ドライブ内でファイル等を複数人で共有・同時編集できる
Jamboard (ジャムボード)	手書きにも対応したデジタルホワイトボードアプリ ホワイトボードを複数人で共有・同時編集でき、ディスカッションも可能（会議室に集まってミーティングをするのと同じ感覚）
フォーム	大勢の意見をリアルタイムで集計・可視化できるアプリ 実際に簡単なアンケートを作成し、グループアドレスへ送信

たまご 補助金

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）団体の 活動紹介（ヨガと手作りパンサークル、Crivel）

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、今年度も、設立間もない7つの市民公益活動団体が活動しています。ニュースレターでは、順次、たまご補助金団体の活動状況をお伝えしています。新しい仲間たちの活動に注目してください。

■団体名

ヨガと手作りパンサークル

団体 Instagram: @yogapankashiwa



■団体紹介

令和3年10月に設立された団体。パン作りとヨガ体験ができる親子向けのイベントを定期開催し、月齢の近い子どもとその親のコミュニティ形成を目的に活動しています。代表の後藤さんはアロマ顔ヨガ講師、一緒に活動している小野さんは管理栄養士の資格をそれぞれ持ち、イベントを通して体の不調改善や食の悩み相談にも応じています。

■活動訪問記（株・トコナ大石）

8月21日に開催された「つみきパン（すいぞくかん）作り&笑顔美人講座」の様子をお届けします！当日は2歳～小学生までの子どもが親子で一緒にパン作りに励んでいました。パン作りに疲れた子がいても大丈夫。キッズスペースでボランティアスタッフが一緒に遊んでくれる安心・安全の環境で、お母さんものびのびとパン作りに取り組みます。

「イベントと言われると1回のみ参加になりがちですが、継続的に参加して、参加者同士で仲良くなってほしい」とのことで、ヨガとパンの掛け合わせで心も体も喜ぶ親子コミュニティの輪がどんどん広がっていくことを応援しています！



パン作りの様子。今回の「つみきパン」は冷蔵庫で簡単に寝かせられて、おうちで毎日作りやすいパンだそうです。

（会場：チコル柏）



パンを焼いている間に…「笑顔美人講座」

肩こりに悩む参加者が多かったため、体ほぐしのストレッチも行い、みんながスッキリした表情に♪

■団体名

NPO 法人 Crivel

（クリヴェール）



団体
HP

■団体紹介

令和3年11月にNPO法人化した団体。地域の子もたちがスポーツを通し多種多様に学べる場を設けること、および多年代の交流など、地域全体で子どもを育成することを目的として活動しています。

- 各種スポーツイベント企画など
- たまご補助金事業として、子どもたちに夏休み期間のサッカー教室、宿題サポート教室の開催に取り組みました。

■活動訪問記（株・トコナ三好）

8月4日に行われた「宿題サポート教室」におじゃましました。子どもたちは、まず宿題のドリルを解いたり、読書をしたり、思い思いの課題に取り組んだのち、指導者や学生、メンバーの大人と一緒にワークショップを体験していました。

活動経験を重ねて、会の目的が遂げられますよう期待しています。



「宿題サポート教室」の様子。午後からは運動中心の活動をそうそう。

（宿題サポート教室会場：沼南体育館）



「世界がもし100人の村だったら」という文章を元にしたワークショップ。様々な立場や、世界の多様な人々に思いを巡らせて意見交換する、子どもたちの表情が印象的でした。

まち match づくりステーション

～活動紹介や会員募集など、団体の情報発信に活用しませんか?～

- 今年4月にパレット柏に開設された「まち match づくりステーション」は、柏市内で活動する市民活動団体同士の交流と連携のためのスペースです。
 - 市民活動団体の活動紹介、複数団体による打合せや小規模なワークショップ等に利用できますが、当面は、市民活動団体の活動紹介の展示等を行う情報発信のスペースとして活用します。
 - ご利用できる団体は、市民公益活動団体、市内一般団体、柏市・千葉県、及びそれらと連携する非営利団体です。※個人の利用はできません。
- ※ 申込・問合せ：パレット柏総合受付又は市民活動サポートコーナー
- 8月前半のKASHIWA NOTE さんの展示を皮切りに、現在、半月単位でご利用いただいています。先ずは一度、現場をご覧になって、ご自分の団体のご利用をお考えください。

8月・9月の利用状況

8月 4日(木)～8月16日(火)	KASHIWA NOTE
8月17日(水)～8月31日(水)	NPO 法人ネットワークハーモニー
9月 1日(木)～9月15日(木)	柏観光プロダクション&ちゃーりんぐ柏
9月16日(金)～9月30日(金)	柏・愛らぶ基金&たまご補助金 ポスター展



KASHIWA NOTE



NPO 法人ネットワークハーモニー



柏観光プロダクション&ちゃーりんぐ柏



柏・愛らぶ基金&たまご補助金 ポスター展

ニュースレター6月号から「愛らぶ基金の団体紹介」を掲載していますが、本号では、誌面構成の関係でお休みしました。また次号(12月号)から掲載します。

編集後記

本号は、「若者の活躍」をテーマにして編集を始めましたが、編集会議で「シニアの活躍も伝えてください。柱は老人力で」との意見が出され、急遽編集方針を変更しました。

確かに「老人力」は今でも、そしてこれからも、柏の市民活動の原動力であることは間違いありません。ただ、シニア団体が、コロナ禍や高齢化などの要因で、最近、活動停止や解散するケースも少なくない、という現実があります。

今こそ、若者の力を借りて、柏の市民活動における「若者とシニアのコラボ」のあり方を考えたいものです。

(編集：サポートコーナーのシニア代表 及川)